

厚生年金基金

かんたん解説ガイド

 Money Forward クラウド

※チェックリストに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報はの資料等をご確認ください。

厚生年金基金は、国の厚生年金に企業が独自給付を上乗せする企業年金制度であり、厚生年金の一部の支給も国に代わって行っていました。しかし、主にバブル崩壊後の運用環境悪化により、ほとんどの基金は既に解散または他の制度へ移行しており、現存する基金はごく少数です。

年金の受け取りについて

元加入者の年金給付は、代行部分とプラスアルファ部分によって異なり、支給主体は基金の解散・移行時期や方法によります。

■ 代行部分

- 基金が解散、移行する際、原則として国に資産と支給責任を返還します。
- 代行返上された代行部分は、日本年金機構(JPS)から本人の老齢厚生年金の一部として支給されます。このため、年金請求はJPSに対して行います。
- 例外として、2014年3月31日以前に解散した基金の代行部分や、同日以前に基金を中途脱退した人の代行部分は、企業年金連合会(PFA)から「代行年金」や「基本年金」として支給される場合があります。

■ プラスアルファ部分

この部分は企業の独自給付であり、その扱いは基金の解散・移行時の決定によります。

基金がDBやDCなどの新制度へ移行した場合

移行先の新制度の規約に基づき、その運営主体から支給されます。

企業年金連合会へ移換された場合

PFAから「通算企業年金」として終身年金等が支給されます。これは特に、基金解散時に他の移行先がなかった場合や、加入者が中途退職した場合に選択されることがあります。

一時金として受け取り済みの場合

解散時や退職時に分配金や脱退一時金として既に受け取っている場合は、将来の年金給付はありません。

元加入者の確認事項

過去に厚生年金基金に加入していた方は、自身の年金記録について、以下の機関に確認することが重要です。

日本年金機構

ねんきん定期便やねんきんネットで、老齢厚生年金に代行返上分が含まれているか確認できます。

企業年金連合会

特に転職経験がある方や、解散した基金の名称が不明な場合でも、PFPFAに記録が移換されている可能性があります。電話やインターネットで照会可能です。PFAには未請求の年金記録が多数存在するため、確認が推奨されます。

元勤務先の企業（人事部等）

基金が他の企業年金制度に移行した場合、その制度内容や手続きについて確認します。

これらの確認を通じて、自身の受け取るべき年金を確実に把握し、請求漏れを防ぐことが肝要です。

